

とわだ子ども議会



十和田市について学び、自分たちの考えを提案しました

議会や市政のしくみを学習

12月25日、市議会議場で「とわだ子ども議会」が開催されました。これは、子どもたちが議会を模擬体験することで、議会や市役所の仕組みを学び、質問を通して十和田市について考え、郷土を愛する心を育むことを目的に、昨年から行っているものです。

子ども議会には、市内小学校6年生の24人が出席し、議長を工藤和貴くん（南小）が、副議長を繁在家鈴香さん（北園小）が務めました。24人の子ども議員は緊張した面持ちで登壇し質問すると、答弁に立った小山田市長と米田教育長は丁寧に分かりやすく答えました。

最終24番で質問をした新屋敷真生さんは「家で練習してきましたが、やっぱり緊張しました。子ども議員になって、市議会がこのような行われているのを知ることができて応募して良かったです」と緊張から解放された穏やかな笑顔を見せました。



16番
小笠原一真くん（南小）
質問 きれいな市にしたい。祭り期間中にゴミ箱を設置してはどうか。
答弁 祭り期間中はゴミの回収が間に合わず、ごみが散乱する恐れがあるため「ごみ持ち帰り運動」や、ボランティアによるごみ拾いを実施している。

15番
小川和馬くん（南小）
質問 みんなが楽しく運動できる市にしたい。全年齢のかたが楽しめる「十和田健康スポーツ大会」を実施したらどうか。
答弁 市でも全年齢のかたを対象としたスポーツイベントは行っているが、みんなが楽しめるよう工夫していきたい。

14番
駒田文多加くん（南小）
質問 人がたくさん集まる市にしたい。駐車場が少ないので立体駐車場を増やしたらどうか。
答弁 日常の駐車場の利用状況を見ると利用されていない日も多く、立体駐車場の整備は多くのお金が必要となるため、現時点では考えていない。

13番
阿部慶吾くん（南小）
質問 子どもたちが楽しく交流できる市にしたい。他校の小学生と「1日交換学習」をしたらどうか。
答弁 他の学校の子ともたちと交流することは大事だと考える。教育委員会でも校長先生方に働き掛けてみたい。

4番
繁在家鈴香さん（北園小）
質問 市民が楽しく話ができる市にしたい。学校同士の交流や、国際交流をしたらどうか。
答弁 国際交流は、ALTの授業、寺子屋稲生塾、イングリッシュデイなどで取り組んでいるので、多くの皆さんに参加してほしい。

3番
下久保響太くん（北園小）
質問 大学を卒業したら地元に戻ってきたいと思う市にしたい。娯楽施設や商業施設が充実した街にしてはどうか。
答弁 現在、働く場所の確保や中心市街地の活性化に努めている。これからも暮らしにまちづくりに努力したい。

2番
滝沢隼雄くん（北園小）
質問 事故のない安全な市にしたい。十字路口などのミラーや外灯を増やしてはどうか。
答弁 学校や町内会から要望を聞き、必要性の高い順にカーブミラーや外灯を設置。今後も交通事故のない安全・安心なまちを目指し、取り組みたい。

1番
中野渡寛志くん（深持小）
質問 気軽に運動できる市にしたい。板ノ沢スキー場の運営を復活できないか。
答弁 板ノ沢スキー場の再開は、スキー人口が減っていることもあり難しい。今ある施設を活用し、多種のスポーツに利用できるように工夫したい。

20番
前田萌々子さん（南小）
質問 安全・安心な市にしたい。段差をスロープに変えたり、歩道にすべり止めをつけたらどうか。
答弁 国の定めるバリアフリー新法に基づき、利用者の多い箇所から段差解消やすべり止めなどの整備をしている。

19番
古内佑命さん（南小）
質問 優しい市民の多い市にしたい。ポスターを貼ったり、市で呼び掛けたらどうか。
答弁 人権擁護委員が小中学校で、人と人が思いやり、認め合うことの大切さを呼び掛けている。今後は市でも呼び掛けを考えていきたい。

18番
沼田愛さん（南小）
質問 みんなが安心して生活できる市にしたい。通学路などにある木の状態を樹木医に調べてもらったらどうか。
答弁 枝の落下や倒木の危険など地域からも同様の意見があった。樹木医診断を活用し、適正管理に努めていきたい。

17番
工藤和貴くん（南小）
質問 安心・安全な市にしたい。注意看板取り付けなど、通学路の安全を確保してほしい。
答弁 注意看板はできる限り設置するよう努力する。また、防犯ブザーの携帯など、自分の身は自分で守ることの必要性を呼び掛けていきたい。

8番
泉日彩さん（北園小）
質問 スポーツがしやすい市にしたい。球場や公園に芝生を植え、ケガをしにくい環境を整えたらどうか。
答弁 芝の施設は増えてきた。今後はスポーツイベントを行い、関心を高める努力もしていきたい。

7番
小笠原美玖さん（北園小）
質問 子どもたちが積極的にイベントに参加する市にしたい。市街地から高森山へのバスを運行する考えはないか。
答弁 高森山へ来るお客様は、車を利用して来る家族連れが多いことから、バス運行は現時点では考えていない。

6番
佐藤彩希さん（北園小）
質問 市民が安心して歩ける市にしたい。「防犯マップ」を作り掲示したらどうか。
答弁 市と警察では各種マップをホームページで掲示している。その他、自発的にマップ作成をしている地域もあり、この活動を広めていきたい。

5番
小笠原可奈さん（北園小）
質問 健康で活気がある市にしたい。屋外スポーツ施設を増やしたらどうか。
答弁 既存の多種多様なスポーツ施設を活用し、スポーツ教室を実施するなど、誰もが積極的にスポーツをするまちづくりに取り組んでいきたい。

24番
新屋敷真生さん（沢田小）
質問 行きたくなる市にしたい。十和田湖で家族が楽しめる施設や体験メニューを増やしたらどうか。
答弁 昨年、ビジターセンター「ぶらっと」がオープンした。市でも、子ども連れの家族が体験できるメニューを増やしたい。

23番
野月千夏さん（沢田小）
質問 生き生きと学べる市にしたい。商店街の空き店舗を利用して、子どもたちが楽しく学べる教室を実施したらどうか。
答弁 提案はまちの活性化につながる考えだと思う。今後も魅力ある学習プログラムを考えていきたい。

22番
林夏希さん（沢田小）
質問 明るくきれいな市にしたい。学校に花の種を贈って地域に植えたり、看板に絵を描いたらどうか。
答弁 児童が学校の周りにも植えることができるか協議したい。看板に絵を描くことはアイデアとして参考にしたい。

21番
中野渡薫さん（南小）
質問 健康な市にしたい。食生活の見直しによる「短命県返上運動」を実施したらどうか。
答弁 市では、約190人の食生活改善推進員と一緒に減塩とバランスのとれた食事を広める活動をしている。今後もさらにレシピの普及を図りたい。

12番
前田晃央くん（南小）
質問 観光客がたくさん来て有名な市にしたい。市民が自分たちができる方法でPRしてはどうか。
答弁 市民の皆さんがPRしていけば大きな効果があると思う。そのため観光パンフレットなども充実していきたい。

11番
原田玲奈さん（北園小）
質問 みんなが知っている市にしたい。「T-1グランプリ」を開催したらどうか。
答弁 現在も特産物の良さを伝える機会をつくっているが、今後も市民の皆さんとともに、市の知名度向上のためのPRをしていきたい。

10番
今井未彩さん（北園小）
質問 全国から観光客がたくさん来る市にしたい。「奥入瀬渓流を守ろう運動」を実施したらどうか。
答弁 奥入瀬渓流では、協力してごみ拾いをしたり、エコロードフェスタを実施して、自然を守ることに努めている。

9番
山田美乃理さん（北園小）
質問 また来たいと思う市にしたい。広報紙を子ども・観光客用などに分けたらどうか。
答弁 毎月1回の広報誌は分かりやすい表現を心掛けています。観光パンフレットは、より一層の工夫を図って作成し、市の情報を発信していきたい。